自動銅ろう付セル ロボットアーム駆動 8秒/個 WPM-155

Model No. WPM-155



SPECIFICATIONS

モデル番号	WPM-155
空気圧	0.5-1.0 MPa
電圧	AC220V / 50 Hz
メインエンジン最大出力	3.4 kW
メインエンジン出力	1.5 kW
ろう付け機最大出力	20 kW
冷却油圧	0.2MPa
流入温度	40°C未満
速度	8秒/個
寸法	2100mm × 900mm × 2100mm
床面積	5020mm × 2100mm

WPM-155は銅工作物向けの自動高周波ろう付セルである。ロボットアームが供給部から部品を取り、ろう付ヘッドへ供し、8秒のサイクルで排出側へ受け渡す。20kWのろう付電源が継手を加熱する。機台には振動ボウルフィーダ2台を備えて相手部品を供給し、ろう付ヘッドは作業テーブル上方の縦スライドに搭載する。

銅端子の手ろう付は、作業者がトーチを当てる時間と供給するろう材の量に依存し、それがシフト終盤の冷接合や絶縁体の焦げとして現れる。WPM-155は手順を固定する。部品をクランプし、誘導ヘッドを設定高さまで下降させ、ろう材を供給し、ろうが流れるまで保持してからインデックス排出する。エア圧は0.5-1.0MPaで調整し、ろう付トランスは0.2MPaで水冷、入口水温は40°C以下とする。

手持ち式のWPM-15-80AB誘導加熱機と比べ、WPM-155は可搬性を再現性と引き換えにしている。コイル位置、保持時間、ろう材供給量を一度設定すれば、8秒/個で繰り返す。床置き型のセルであり、本体寸法2100 x 900 x 2100 mm、フィーダと作業者通路を含めて5020 x 2100 mmの設置面積を要するため、多品種請負よりも専用ラインに向く。

主な特長

1. 8秒/個のサイクル。作業者のペースではなく機械側で規定する。

2. 20kWのろう付電源。メインエンジンは連続1.5kW、最大3.4kW。

3. ロボットアームが供給、ろう付位置決め、排出を担い、作業者は治具への装着のみを行う。

4. ベースプレート上の振動ボウルフィーダ2台が相手部品をピック位置へ供給する。

5. 水冷ろう付ヘッド。冷却水圧0.2MPa、入口水温40°C以下。

6. AC220V/50Hz、工場エア0.5-1.0MPaで運転。本体2100 x 900 x 2100 mm、設置面積5020 x 2100 mm。

技術仕様

項目	仕様
型式	WPM-155
電圧	AC220V / 50Hz
速度	8秒/個
最大出力（メインエンジン）	3.4 kW
出力（メインエンジン）	1.5 kW
最大出力（ろう付機）	20 kW
エア圧	0.5-1.0 MPa
冷却水圧	0.2 MPa
入口水温	40°C以下
外形寸法	2100 x 900 x 2100 mm
設置面積	5020 x 2100 mm

用途

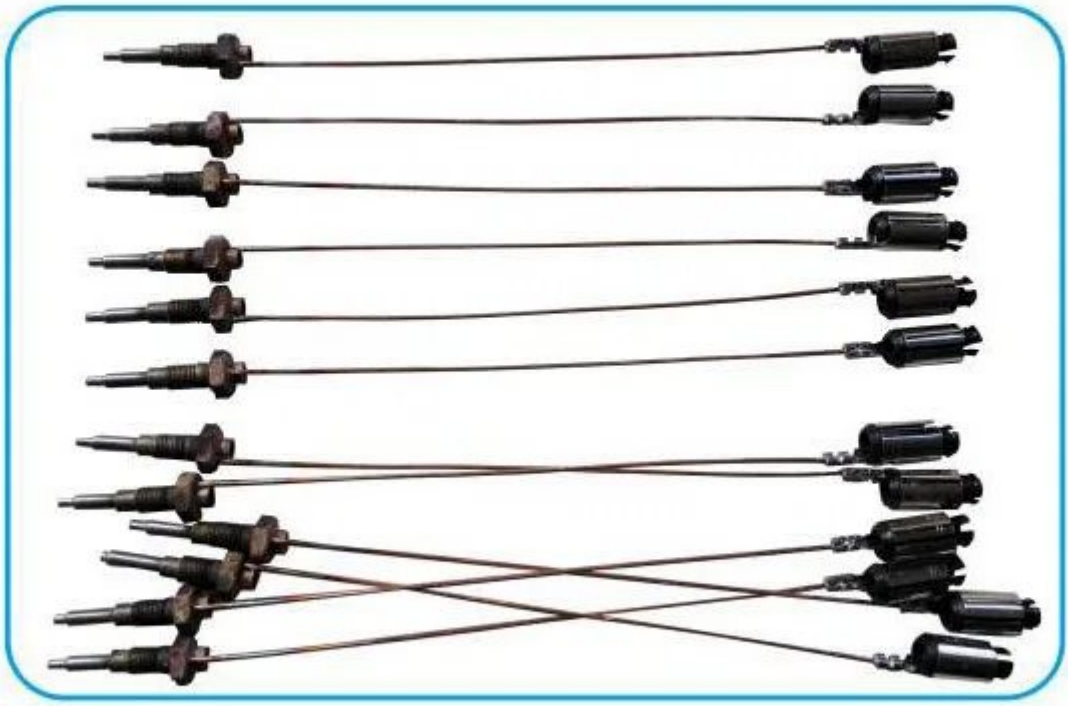
— ケーブルハーネス：絶縁スリーブを被せる前の銅線と丸形・フォーク形端子のろう付。

— 家電配線：発熱体やスイッチの真鍮端子へのより線のろう付。

— 開閉器・コンタクタ：一定の入熱での銅編線と接点パッドの接合。

— 自動車ハーネス：バッテリケーブルラグやアーススストラップの量産ろう付。

— 銅管組立：火炎では全体が焼なまされる小径管継手のろう付。



FAQ

WPM-155 自動銅ろう付け機の電力仕様を教えてください。

WPM-155 は主機電力 1.5KW、最大主機電力 3.4KW で、ろう付け機は最大電力 20KW に達します。AC220V/50Hz で動作します。

WPM-155 ろう付け機はどのくらいの速さで動作しますか?

WPM-155 は 8 seconds/piece の速度で動作します。このサイクルタイムは、ロボットアームによる自動銅ろう付けで安定した生産量を支えます。

WPM-155 にはどのような空気圧と冷却条件が必要ですか?

WPM-155 は 0.5-1.0MPA の空気圧と 0.2MPa の冷却油圧が必要です。冷却を効果的に保つため、流入水温は 40°C 未満である必要があります。

WPM-155 にはどのくらいの設置面積が必要ですか?

WPM-155 の機械寸法は 2100mm*900mm*2100mm で、設置面積は 5020mm*2100mm が必要です。余裕のある設置面積により、ロボットアームとその動作範囲のためのスペースが確保されます。

WPM-155 は何のために設計されていますか?

WPM-155 はロボットアームを中心に構築された自動銅ろう付け機です。ろう付け機最大電力 20KW、速度 8 seconds/piece で、量産における自動銅接合を目的としています。